

利根沼田保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会の 開催結果について

1 次 第 別紙のとおり

2 出席者 別紙のとおり

3 議 題

- (1) 沼田病院の現状と今後の対応について
- (2) 利根沼田地域の医療提供体制について
- (3) 今後の進め方について

4 結果概要

- (1) 独立行政法人国立病院機構から、出席した地元自治体の長や医療関係者に対し、沼田病院の現状等について説明した。

具体的には、患者数及び医師数の減少による長年にわたる医業収支の赤字に加え、今後の医師確保が極めて困難であること、並びに利根沼田地域の将来推計人口から、地域の患者数が減少すること及び職員の確保がさらに困難となることが予想され、将来にわたって医療機能を維持することは大変厳しい状況であることを説明した。

- (2) 群馬県から、現在、沼田病院が担っている医療機能（救急、災害医療、へき地医療、感染症等）の状況について説明した。

併せて、これら沼田病院が果たしている医療機能については、地域住民への医療提供に支障が生じないように、地域全体で今後どのように維持・確保していくのが重要との考え方を説明した。

- (3) 今後の進め方については、本日いただいた意見を踏まえながら、この協議会の場で議論を継続していくこととなった。

- (4) なお、本日の協議会における委員からの主な意見は次のとおり。

- 病院がなくなってしまうと感染症の蔓延時などに、大きな影響があるのではないか。
- 仮に今後、沼田病院が維持できなくなったとしても、地元の事情をよく知る医療機関を、何らかの形で残してほしい。
- 今後の検討を進めるにあたって、地域の関係者と適切に情報共有を図ってもらいたい。
- 医療の空白はさけてもらいたい。スケジュールありきではなく、地域の住民に丁寧な説明をお願いしたい。
- 巡回診療など必要な機能は残してもらいたい。
- 今後の方針については、もう少し地域と相談してから判断するのがよいのではないか。
- 遠隔診療などのシステムを構築してもらえるとよい。
- 地域に必要な医療を確保するために県も支援を検討してもらいたい。

利根沼田地域保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会 次第

1. 日 時 令和7年8月7日（木）18時30分～

2. 場 所 群馬県利根沼田振興局庁舎 101会議室

3. 議題

- ・ 沼田病院の現状と今後の対応について
- ・ 利根沼田地域の医療提供体制について
- ・ 今後の進め方について

4. 配布資料

資料1：沼田病院の現状と今後の対応について

資料2：利根沼田地域の医療提供体制について

資料3：今後の進め方について

**利根沼田地域保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会
委員名簿**

役職名	委員名	出欠
沼田市長	星野 稔	出席
片品村長	梅澤 志洋	出席
川場村長	外山 京太郎	出席
昭和村長	高橋 幸一郎	代理出席 (諸田健康福祉課長)
みなかみ町長	阿部 賢一	出席
沼田利根医師会 会長	林 秀彦	出席
沼田利根医師会 副会長	石田 智之	出席
沼田利根医師会 副会長	森平 和明	出席
沼田利根歯科医師会 会長	鈴木 克也	出席
沼田利根薬剤師会 会長	間宮 実	出席
沼田病院 院長	小川 哲史	出席
利根中央病院 院長	関原 正夫	出席
沼田脳神経外科循環器科病院 院長	森下 篤	出席
医療法人大誠会 理事長 (内田病院)	田中 志子	出席
群馬パース病院 院長	國元 文生	出席
医療法人パテラ会 理事長 (月夜野病院)	櫻井 明	出席
上牧温泉病院 院長	丸山 秀樹	欠席
全国健康保険協会群馬支部 業務部長	田邊 剛一	出席
利根沼田広域消防本部 消防長	関 和弘	出席
県看護協会 沼田地区支部長	古市 清美	出席
利根沼田広域市町村圏振興整備組合 事務局長	鶴淵 佳秀	出席

委員以外の出席者

所属及び役職名	氏 名
独立行政法人国立病院機構本部企画部長	田中 義高
独立行政法人国立病院機構本部医療部長	福田 亮介
独立行政法人国立病院機構関東信越グループ総括長	田村 敦宏
厚生労働省医政局医療経営支援課医療独立行政法人支援室長	荒木 正昭
群馬県健康福祉部長	國代 尚章